

第60回 水工学に関する夏期研修会



主催：公益社団法人 土木学会

期日：2025年8月28日（木）～8月29日（金）（A、Bコース並行開催）

場所：九州大学医学部 百年講堂（対面＋録画によるオンデマンド）

本研修会は土木学会のCPD（継続教育）プログラムとして認定されています。

Aコース（河川・水文）、Bコース（海岸・港湾）

テーマ：水工学のパラダイムシフトをもたらす技術・研究

■ 8月28日（木）

Aコース・Bコース 共通	
9:00～10:30	渡部哲史（九州大学）：大規模アンサンブル気候予測情報活用の基礎： pythonによる取得から簡易な解析までの実践
10:45～12:15	三谷泰浩（九州大学）：地域防災への地理空間情報の利活用
13:30～15:00	宮田龍太（琉球大学）：防災・減災をめざしたAIの利活用
15:15～16:45	北野利一（名古屋工業大学）：河川・海岸の治水計画にたずさわる技術者のための 多変量と単変量の極値統計理論の基礎

■ 8月29日（金）

Aコース（河川・水文）		Bコース（海岸・港湾）
9:00～10:30	齋藤正徳（九州地方整備局）： 治水機能確保と環境影響最小化を目指した 流水型ダムに関する技術的検討～川辺川ダムと阿蘇立野ダムによるケーススタディ～	本多和彦（国土技術政策総合研究所）： 沿岸防災における技術課題と今後の取組みに関する展望
10:45～12:15	中山恵介（神戸大学）： Nature-based solutions とカーボンニュートラル	佐々木淳（東京大学）： 沿岸域におけるブルーカーボンと環境再生の 社会実装に向けた展開
13:30～15:00	原田守啓（岐阜大学）： 気候変動適応分野での水工学の実践～影響 評価から適応策まで	有川太郎（中央大学）： 沿岸域における気候変動適応策に関する現状と 課題
15:15～16:45	鬼倉徳雄（九州大学）： 生物分布モデルの予測値をかわづくり に生かす	岡田知也（国土技術政策総合研究所）： 沿岸域の環境の保全・再生・創出ー過去からの 変遷, 今後の動向ー

備考：両日とも講師との交流会（昼食・軽食 経費別途必要）を開催予定。申込後別途連絡。

受講料：現地 一般 16,000円，学生・院生 10,000円

オンデマンド 一般 18,000円，学生・院生 12,000円

申込方法：土木学会 HP(<https://www.jsce.or.jp/events/form/>)の末尾に以下の数字を入力ください。

Aコース：（対面）2325011,（オンデマンド）2325013

Bコース：（対面）2325012,（オンデマンド）2325014

問合せ先：土木学会研究事業課 TEL：03-3355-3559（担当：杉野詞音）

詳細情報（夏期研修会ホームページ）：<https://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/249/>